

# NBK NEWS

2009 Vol.49 新年号

社団法人日本べんとう振興協会

ホームページ <http://www.bentou-shinkou.or.jp>

## 年頭所感



社団法人  
日本べんとう振興協会 会長 **安田 定明**

会員の皆様、明けましておめでとうございます。夢と希望を胸に新しい年をお迎えることと思います。

さて、昨年は原油、穀物等の猛烈な価格上昇と暴落、並びにいわゆるサブプライムローンに端を発した不況などと、目まぐるしく経営的基礎条件が変転いたしました。特にサブプライムローンの問題は、米国経済を根底から揺さぶり、当初の楽観の見方とは全く異なり100年に1回と言われる世界同時不況という形で、しかも前例を見ないスピードでわが国も襲ってまいりました。これは、アメリカの住宅バブルに端を発し、金融工学の限界に起因したものと云えましょう。

こうした厳しい経営環境のなかで、コンビニ業界は昨年7月以降、好調に推移しておりますが、これは、一般に言われるようなtaspoカードの導入によってコンビニでのタバコの対面販売の優位性が認識された効果だけによるものではなく、基本的には、先に述べた厳しい経営環境のなかで、会員各位が顧客本位に地道に努めて来たことが、こうした結果をもたらしたものと考えます。しかし、当業界も、今年ますます厳しい経営環境に直面することを覚悟しなくてはなりません。現在の一時的な好調に惑わされることなく、将来を見据えて確実に歩むことが最も大切なことでもあります。

当協会は、こうした認識に立ち、新しい年を迎え、改めて業界の発展に寄与することを、心新たにす次第です。

具体的には、人材は最も大切な経営資源

の一つであることには変わりませんので、創設以来5年目に入る食品微生物検査技士制度を更に充実させることです。幸い、検査技士の養成講座に使用しているテキストは、専門家から大変高く評価されております。1級のテキストであります「微生物学概論」を用いてISO22000審査員(補)の登録条件の一つとなる「基礎微生物学研修コース」が承認されることも予定されております。

また、昨年 HACCP 手法支援法に基づく指定認定機関として、これまでになく大変早期に承認を得ることが出来ました。この制度は、当業界にとっては低利の長期融資を受けられることが唯一のメリットではありますが、金融情勢の厳しいなか、必ずや業界の大きな支えとなるものと思います。当協会としてもこの制度の有効な活用を積極的に進めたいと考えます。

当協会は、平成20年12月1日、新しい公益法人制度が施行されることによって、法律上は「特例民法法人」となりました。以後5年間に、必ず「公益社団法人」又は「一般社団法人」の申請をしなくてはなりません。当協会の事業内容を考慮し、業界としての社会的貢献の実態として、公益社団法人の申請準備を行うことを予定しております。

大変厳しい経済環境の中にも、好転している部分もあります。会員各位並びに当業界が、輝かしい展望のもと、不断の努力によってますます発展することを祈念して私の年頭の所感といたします。